Good Sports Good Future
-最広の交流と最高の興奮を-
FLV
Fourex League Volleyball

FLV2014 終結!!

チャンピオンズDivision

セミファイナル
4月5日(土)

グランドファイナル
4月6日(日)

国立オリンピック記念青少年総合センター

限界まで気を高め、限界まで魂を元気にさせる大人の大会･･･

FOUREX LEAGUE 2014
INTERNATIONAL CLUB VOLLEYBALL CHAMPIONSHIP

Good Sports Good Future
-最広の交流と最高の興奮を-
FLV
Fourex League Volleyball

weider
molten For the real game
RENTAL -NICE-
野沢温泉スキー場 SNOW RESORT
THE SUPER SPORTS XEBIO
HOYLE

優勝 伊勢茶Wins

見事ＦＬＶ２０１４の王座に輝いたのは、愛知からの推薦エントリー、初出場の伊勢茶Ｗｉｎｓでした‼

セミファイナルでは１セットしか落とさない安定した戦いを見せました。１番の中川選手はじめ、９番紺野選手、５番辻選手など強力なアタッカー揃いの伊勢茶Ｗｉｎｓ。バレーのレベルの高さはもちろん、ベンチからの声も熱く、チームでつかんだチャンピオンの称号でした。

喜びの声を聞かせてください。

「優勝できて本当に嬉しいです！ベンチや応援も一つになって、団体で勝つのがうちのチームなので、それができてよかったです。」

ＦＬＶは初出場でしたが？

「チャンピオンズの２日間、手ごわい相手ばかりで楽な試合は一つもありませんでした。また来年も頑張ります！」

強さ、上手さを存分に見せてくださった伊勢茶Ｗｉｎｓの皆さんですが、さらにパワーアップした姿を来年も見られることを楽しみにしています！

GAME REPORT 王座決定戦

勝った方が文句なしのチャンピオン、王座決定戦は伊勢茶Ｗｉｎｓ対ＢＲＥＺＺＡという顔合わせになった。

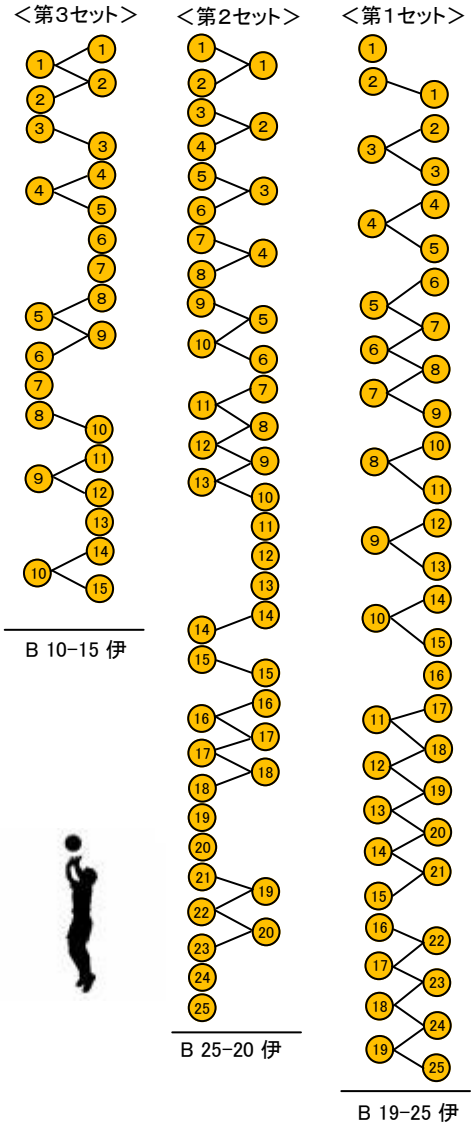
第一セット、お互いにミスを許さずスパイクを決めあう。しかしサーブやブロックの差で伊勢茶Ｗｉｎｓが ＢＲＥＺＺＡに連続得点を許さず、25－19で先取した。

第2セットに入ると形勢逆転、今度はＢＲＥＺＺＡが伊勢茶Ｗｉｎｓに連続得点を許さない展開が続く。３連続１枚ブロックなどで、伊勢茶Ｗｉｎｓが一時は追いついたものの、勢いに乗ったＢＲＥＺＺＡはバックアタックなどで突き離し、試合を振り出しに戻した。

体力的にもきつくなった最終セット、伊勢茶Ｗｉｎｓが長いラリーをことごとく制す。リードを広げると、そのまま最後はＢＲＥＺＺＡのサーブミスで、伊勢茶Ｗｉｎｓが初出場にして見事王座をものにした。

両チームともにコート内からもコート外からも大きな声が飛び交う白熱の一戦は、王座決定戦にふさわしくレベルの高い試合だった。間違いなくＦＬＶ史に残る名勝負となっただろう。

BREZZA　VS　伊勢茶Wins



準優勝 BREZZA

惜しくも一昨年と同じ準優勝、渇望していたＦＬＶの王座を逃したのはＢＲＥＺＺＡ。お馴染みのパーパランニングから始まり、セット間にはＦＬＶポーズをするなど、常に大会を盛り上げてくれました。

いつも明るく全力プレーのＢＲＥＺＺＡの皆さんでしたが、フルセットの末惜しくも敗れた決勝戦後には、男泣きをする選手の姿がありました。

試合後には、「コメントなんてありません‼来年こそは３度目の正直、優勝します！まっててください‼」と、熱い想いを話してくれました。今後の活躍を本当に期待しています！

4位 曙

FLV初出場、チャレンジャーズDivisionからの昇格ながら、確かな実力を見せつけて4位に輝いたのは曙でした！

1点取るごとに全員でコートを走り回って喜ぶ姿が印象的だった曙の皆さんですが、「準決勝で負けたダメージが大きかったです。もう足が動きません」と力をだしきった様子でした。

来年度のチャンピオンズ在籍権を獲得ということで、来年のリベンジに期待です！

3位 ドリフ海賊団

FLV2014のダークホース的存在、バレー以外でもたくさんの笑いを届けてくれたドリフ海賊団が、見事3位に輝きました！

野球のユニフォームで登場、ベンチからは鳴り物で応援と、ギャラリーの視線を釘付けにしていたドリフ海賊団のみなさん。快進撃の要因は、「練習してるから！週1で！」だそうです。

応援団と選手が一体となって勝ち取った3位の座。本当におめでとうございます！

最優秀選手賞

選手間投票で選ばれた最優秀選手賞。優勝した伊勢茶Winsから1番の中川一選手が選ばれました！選出理由は「体がすごい」「スパイクすげー」「1番だから！」など、鍛え上げられた身体から繰り出される強烈なスパイクが皆さんの印象に残ったようです。本人は「身体を鍛えるのは好きなので」とのこと。

また、「とにかくすべてがうまい‼」などの理由で紺野圭佑選手、「技術的に優れている」などの理由で野沢憲治選手、その他3選手がランクインと、最も多くの選手に票が入ったのも伊勢茶Winsでした。本当におめでとうございました！

最優笑選手賞

大会中笑顔がステキだった人、最も笑いをとった人に贈られる最優笑選手賞を手にしたのは、ドリフ海賊団のマネージャー、結城国世さんでした！結城さんは選手宣誓でマジンガーZを歌うという大役を果たしてくれました！選出理由は「とにかく面白くて笑いました‼」「選手でないかもしれないけどファイヤープレー」などがありました。

ドリフ海賊団からは、「全てが受ける」「笑顔が可愛いと思った」などの理由で2位に中村駿選手が、また「全員が笑わせてくれる」などの理由でチームとしてもランクインしました！おめでとうございます！

スパイキング賞

1試合で最も多くスパイクを決めた人に贈られる「スパイキング賞」。見事「スパイキング」に輝いたのは、BREZZAの4番、土屋貴裕選手でした！

「スパイクを一番決めたという自覚はありません」という土屋選手。「キャプテン海野のおかげでここまでやってこれました！これからもがんばります！」というコメントを残してくださいました。このチームカがBREZZAの魅力ですね！

これからもばんばんスパイクを決めてチームに貢献してください！

スライディング賞

もう一つの競技部門個人賞、「スライディング賞」に輝いたのは、東陵東京クラブの88番、リベロの金澤英佑選手でした！「スライディング賞」は、1試合で体を張ったスライディングでレシーブを上げた回数が1番多かった選手に贈られる賞です。

金澤選手は、「レシーブを頑張ろうと思ってました。気づいたら1番スライディングをしてたんですね（笑）来年もFLVでスライディング賞を取れるように、練習から頑張ります！」とのことでした。来年もこの舞台でたくさんスライディングを見られることを期待しています！

リーグディレクター特別賞

リーグディレクターの松田裕雄が選ぶ「リーグディレクター特別賞」受賞者は、曙の5番衣川佳宏選手でした。プレーはもちろん、プレー以外の面でもチームに大きく貢献し、コートでの存在感は絶大でした。試合中、衣川選手の作り出す雰囲気は最高でした！

「まさかこんな風に選んでもらえるとは思ってなかったんで嬉しいです。（賞品の）つくばのお酒、美味しくいただきます」とのことでした。

シル兄、これからもそのプレーで、声で、チームを引っ張っていってください！

初の試み！？　チアとバレーの融合

ＦＬＶチアCUP2014

チャンピオンズDivisionでは、予選を勝ち抜いた選手の皆さまによる白熱した試合が繰り広げられましたが、盛り上がったのはバレーだけではありません！同時に行われた、社会人チアリーダーによるコンテスト「ＦＬＶチアCUP2014」でも会場が沸きに沸きました！

ＦＬＶチアCUPは今年初開催された大会です。「ショート」と「フリー」の2つのプログラムを、野沢温泉スキー場社長の河野博明社長など3人の審査員が審査し、6チームの順位を競いました。

第6試合の後にメインコートで行われたショートプログラムでは各チームが2分ずつ、音楽に乗せてチアリーディングを披露しました。チアチーム「Graces」のチア達が「選手が近くにいてびっくりした！」と驚いた通り、このプログラムではとにかく選手との距離が近いのが特徴！試合を重ね、最初は疲れた気味だった選手達も、次第に視線はチアリーダーにくぎ付けで、前傾姿勢に。選手達の手拍子と山本ゆうじ氏の実況で会場全体はさらにヒートアップ！各演技の直後には、事前の抽選で選ばれた6チームの「専門応援団」となるチアチームが発表され、選ばれたチームのテンションは最高潮となりました！

ショートプログラム後、専門応援団となったチアチームは、すぐさまフリープログラムに突入です。フリープログラムは、バレーの試合の流れに合わせて、即興で応援をするユニークなもの。普段は、試合に合わせて本格的な応援を“魅せる”ことがないため最初はチアリーダー達も（選手の方も）戸惑い気味でしたが、試合が始まれば戸惑いも選手の恥じらいもなんのその。得点が決まる度に、チアリーダーと選手が一緒になって喚起する姿が各チームで見られました。岩手からチャンピオンズDivisionに参加した「岡崎建設Ows」の監督は「選手達は喜んでいて、楽しい試合でした」と笑顔で話してくれました。

チアリーダーにとっても楽しい経験だったようで（最後の椅子取り決戦で）応援チームの「Civaua Club」が勝利した「Braves」代表の山本邦子さんは「普段は試合をこんな近くでみることがないので、プレーの迫力に圧倒されました！勝利の瞬間は審査を忘れて喜びました」と、興奮気味に感想を語ってくれました。

審査員の一人である林田祐樹氏が「選手とチアリーダーと観客が一体となる、これこそが本来のチアの姿だと思った」と感慨深げに話していましたが、報道隊の目から見て、チアリーダーも選手も観客の誰もが満面の笑顔で楽しんでいたのが印象的でした。

普段の練習・大会では経験できない「最高の興奮」が「最広の交流」によって実現される……まさにＦＬＶらしい大会！になったのではないでしょうか？

（平嶋健人）

百花繚乱&リーガルハイ
キレッキレのダンスパフォーマンス!!

チアとは別にもう一つ、大会を盛り上げてくれたのがＤＡＳのダンスチームによるパフォーマンスでした！

オープニングセレモニーで会場のボルテージを上げてくれた、ＥＸＰＲＯＯＤＥによる「百花繚乱」、そして王座決定戦直前に盛り上げてくれた、Ｈ☆ＪＡＣＫによる「リーガルハイ」、両方キレのあるダンスで選手たちからも大きな歓声が上がりました。両チームとも振り付けや衣装など、全て自分たちで考えたそうです。

王座決定戦ではそのままＨ☆ＪＡＣＫの皆さんがチームと一体になって応援をするなど、「ダンスとバレーの融合」も見られました！両チームの皆さん、元気いっぱいのダンスありがとうございました！

大会公式ＤＪ 山本ゆうじ氏による実況も!!

ワールドカップやグラチャンなどの会場ＤＪでお馴染みの、ＦＬＶ大会公式ＤＪ山本ゆうじさんがチャンピオンズの会場を大いに盛り上げてくださいました！試合や選手の情報の実況、時にはその場でキーマンにインタビューと大活躍！強烈なサーブやスパイクが決まるたびに、選手の名前を叫ぶゆうじさんのダンディな声が会場に轟きました！

選手も観戦していた人も、ゆうじさんの実況でより一層大会を楽しめたのではないでしょうか。チャレンジャーズ、マスターズよりも「見られる意識」が高いのも、チャンピオンズならではの魅力かもしれませんね！

夜のFLV合魂パーティ

ＦＬＶ恒例の合魂パーティ。一日戦った選手同士の交流はもちろん、今年はチアＣＵＰの表彰式も行ったため、チアリーダーとの交流もあり、真の意味での「合コンパーティ」に近づいたのではないでしょうか。接戦が多くパーティの時間は短くなってしまったのですが、昼間の健闘をたたえ合う選手の姿や、チアリーダーと写真を撮る選手の姿、またスタッフと談笑する選手の姿もたくさん見られました。中には飲みすぎちゃって次の日が大変だった方もいるようですが、合魂パーティでの出会いと交流がみなさんにとって最高のものであったなら嬉しいです！

Photo & Voice

皆さんに書いて頂いたコメントと写真で、今大会を振り返ります…

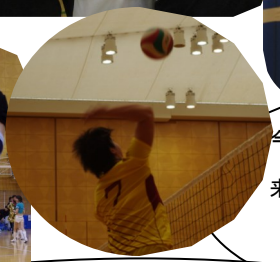
とても楽しく試合できました。

チアの方がいて、会場が盛り上がりました。

来年も出られるようにガンバります！！

来年もチャレンジャーズから出直してきます！！

K2



今回のFLVも楽しかった！

来年こそ100,000円ねらいます！

Nasty-One

6人で2日間（リベロがセンター）疲れたー！

でも楽しめました。

RAKUTAMA

楽しかった。バレーボール。清球会のenjoyバレーを予選から出来たと思う。

ガッチャマンの人がとりあえずはっちゃけてたから負けじとポーズをとりまくった。ガッチャマンをいじりまくり楽しみました。ラウンド～！！ガッチャマン！！

清球会

スタッフの声

ＦＬＶ通信も最終号。今シーズン、この通信を作らせていただくにあたって、誰よりもたくさんの写真を見たし、誰よりもたくさん大会を振り返ったのではないかと思っています。そのたびに思い出すのは、選手の皆さんと交わした何気ない会話の数々です。「ふじ子ちゃん！」と声を掛けてくださったり、下手くそな質問に一生懸命答えてくださったり、選手の皆さんのバレーへの情熱と優しさに本当に助けられました。

また、こんなに多くのチーム、試合を見たのも初めての経験でした。バレーはチームスポーツ。チームで一つになるということがどういうことなのか、「繋ぎの神髄」とはどういうことなのか、シーズンを通して少し分かった気がします。そこにバレーの魅力がギッシと詰まっているのではないでしょうか。皆さんの姿を見て、ますますバレーボールの虜になりそうです。

たくさんの感動と興奮と、時々笑いを届けてくださった皆様、本当にありがとうございました！

（藤原真梨子（ふじ子ちゃん））